

# 豊岡市国民健康保険

## 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）

### 第3期特定健康診査等実施計画

【平成30年度～35年度】

（概要版）

#### 計画の趣旨

#### 保健事業実施計画（データヘルス計画）とは？



健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業を実施します

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対して、レセプト等のデータ分析に基づく保健事業計画の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市町国保が同様の取り組みを行うことを推進する」とされ、保険者は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施するため保健事業計画を策定することとなった。

#### 特定健康診査等実施計画とは？



糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的としています

平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」が施行され、医療保険者の役割としては、40～74歳の加入者を対象とする、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務づけられ、生活習慣病の発症や重症化を予防することで医療費の伸びを抑制し適正化を図ることを目指し、特定健康診査等実施計画を策定し実施してきた。



本計画は、「豊岡市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」と「第3期特定健康診査等実施計画」を合わせて策定し、より効果的かつ効率的な事業実施を図れるよう計画した。計画期間は平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

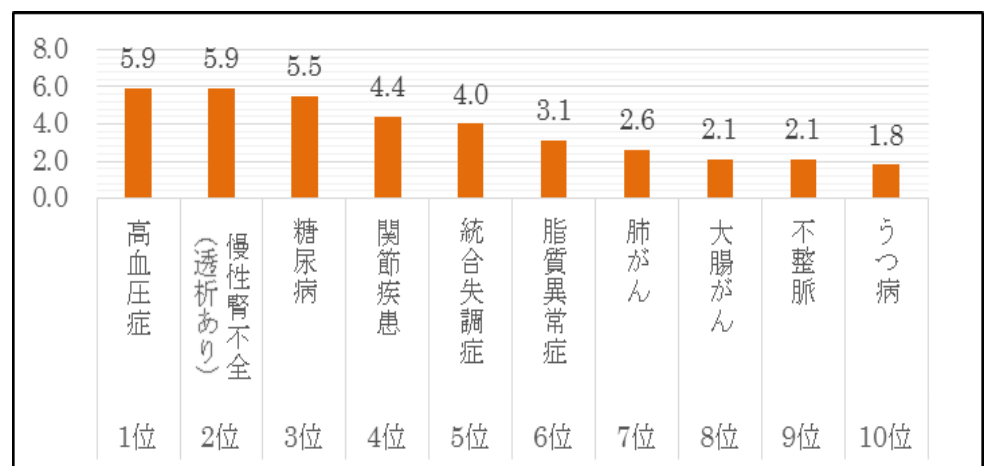
#### 現状と分析

##### 被保険者と年齢構成

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
被保険者数	24,306人 (100.0%)	23,472人 (100.0%)	22,826人 (100.0%)	21,879人 (100.0%)	20,706人 (100.0%)
前期高齢者 (65～74歳)	8,226人 (33.9%)	8,718人 (37.1%)	9,082人 (39.8%)	9,216人 (42.1%)	9,065人 (43.8%)
内70～74歳	3,808人 (15.7%)	4,065人 (17.3%)	4,245人 (18.6%)	4,035人 (18.4%)	3,929人 (19.0%)
7～64歳	15,198人 (62.5%)	13,956人 (59.5%)	12,982人 (56.9%)	11,983人 (54.8%)	11,039人 (53.3%)
未就学 (0～6歳)	882人 (3.6%)	798人 (3.4%)	762人 (3.3%)	680人 (3.1%)	602人 (2.9%)

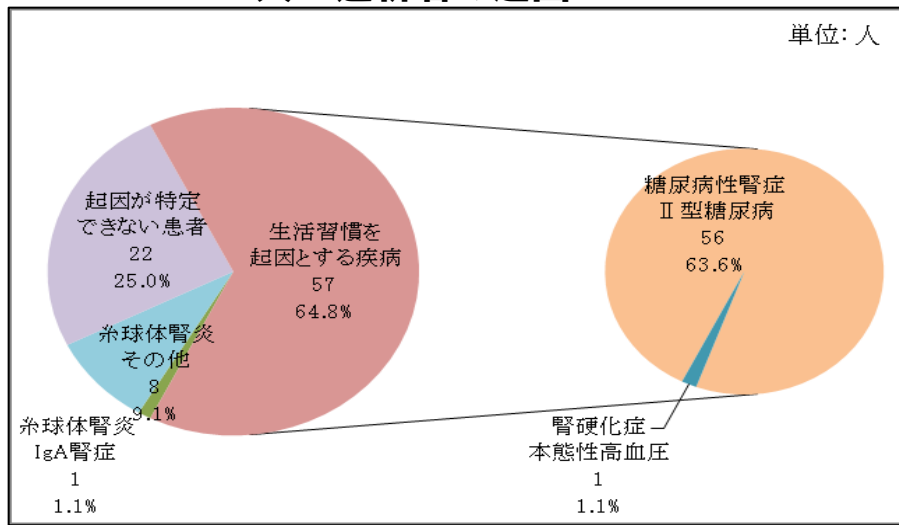
国民健康保険の被保険者数は年々減少している。主な要因としては、出生数の減少と75歳に到達した後期高齢者医療制度へ移行することが考えられる。年齢構成では、前期高齢者の加入率が上昇し、被保険者の高齢化が進んでいる。

##### 医療費全体に占める細小分類医療費の割合(入院+外来)



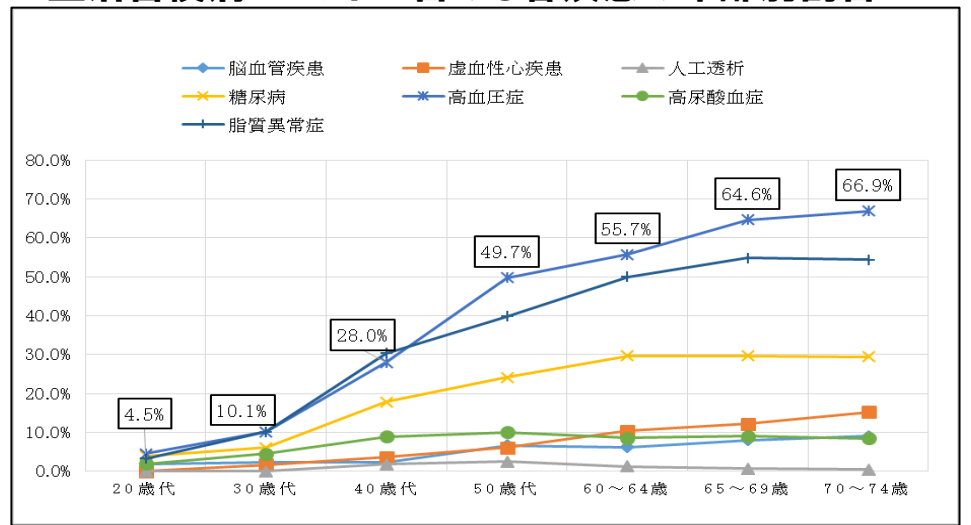
「高血圧症」「慢性腎不全（透析あり）」が上位を占め、次いで「糖尿病」が高い割合となっており、生活習慣病の予防対策に取り組む必要がある。

## 人工透析者の起因



人工透析者の内訳をみると、64.8%が生活習慣を起因としており、また全体の63.6%が糖尿病を起因として透析となる糖尿病性腎症である。

## 生活習慣病レセプトに占める各疾患の年齢別割合



生活習慣病レセプトに占める各疾患の年齢別割合をみると、「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」が、40歳代から増加し始めている。特に70~74歳で66.9%が高血圧症となっており、年齢とともに徐々に増加している。

## 重点課題と対策の方向性

### 課題

被保険者数の減少と高齢化の進行

医療費全体に占める割合では、高血圧・慢性腎不全・糖尿病が上位

人工透析者の中で糖尿病が起因となっている者が6割あり

特定健診結果で、男女とも拡張期血圧が有意に高い

特定健診受診率が男女とも40・50歳代で低い

### 方向性

#### 生活習慣病の発症予防

- ① 特定健診受診率の向上
- ② 3年継続受診割合を増やす
- ③ 特定保健指導実施率の向上
- ④ 血圧値が正常高値（収縮期130又は拡張期85）以上の割合を減らす

#### 生活習慣病の重症化予防

- ① 糖尿病・糖尿病性腎症の重症化を予防する
- ② 健診未受診者や未治療者の割合を減らす

#### 各世代に対応した健康づくり

- ① 40・50歳代の特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上
- ② 前期高齢者（65歳～74歳）の特定健診受診率の向上・フレイル予防を含めた生活習慣病予防の意識啓発

#### 医療費を増やさない取組み

- ① 受診行動を適正化し、医療費を減らす

### 目的

健康の保持増進及び健康寿命の延伸・医療費の適正

## 対策と目標

### 高血圧予防普及啓発事業

高血圧予防に取り組む人を増やして、生活習慣病の発症を予防する

- ・ 健診会場の健康相談で、高血圧予防の保健指導を実施
- ・ 血圧ノートを活用し、血圧の自己管理を促す
- ・ 減塩に関するリーフレットの作成配布と集団教室の実施

#### <目標>

	指標	現状(2015年)	目標値(2024年)				
アウトプット	健診会場健康相談実施率	11.8%	15.0%				
アウトカム	血圧値が正常高値（収縮期130又は拡張期85）以上の割合	男性	収縮期	58.2%	男性	収縮期	49.7%
			拡張期	31.9%	男性	拡張期	24.3%
		女性	収縮期	44.2%	女性	収縮期	43.0%
			拡張期	18.4%	女性	拡張期	14.6%

### 糖尿病・糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病の未治療者等を確実に医療機関につなぐことで重症化を予防するとともに新規透析導入者を減らす

- ・ 訪問や電話等により受診勧奨を実施し、かかりつけ医に受診結果の回答を依頼
- ・ 糖尿病治療者運動指導事業の実施（WS豊岡に委託）
- ・ かかりつけ医からの依頼により栄養指導の実施

#### <目標>

	指標	現状(2017年)	目標値(2024年)
アウトプット	受診勧奨後の医療機関受診率	50.0%	80.0%
アウトカム	HbA1c6.5以上割合	1.9%	1.0%

## 特定健診未受診者・継続受診対策

特定健診受診率向上により生活習慣病の早期発見・発症予防をめざす

- ・新規国保加入者に受診勧奨のリーフレットの送付
- ・健診未申込者に対して受診勧奨通知
- ・健診会場健康相談で継続受診についての啓発

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	未受診者への受診勧奨	100%	100%
アウトカム	特定健診受診率	43.9%	60.0%

## 生活習慣病要治療者受診勧奨事業

生活習慣病要治療者の未治療者の割合を減らし、生活習慣病の重症化を予防する

- ・訪問又は電話で受診勧奨および生活習慣改善指導の実施
- ・受診勧奨通知と合わせて、リーフレットと受診確認票を送付
- ・未受診者等には、再度受診勧奨を実施

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	受診勧奨後の医療機関受診率	48.2%	80.0%
アウトカム	Ⅲ度高血圧者の割合	4.1%	2.0%

## 40・50歳代の受診勧奨事業

40・50歳代の健診受診率向上により、生活習慣病の早期発見・発症を予防する

- ・40歳新規国保加入者に対して、受診勧奨の実施
- ・41～59歳の健診未受診者に対して、受診勧奨を実施

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	40・50歳代への受診勧奨実施率	100%	100%
アウトカム	40・50歳代の特定健診受診率	32.0%	44.0%

## ジェネリック医薬品差額通知事業

後発医薬品への切り替えを促進し、医療費適正化を図る

- ・後発医薬品への切り替えにより、自己負担軽減額の大きい順に上位800人に対し、差額通知を年2回送付

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	通知実施率	100%	100%
アウトカム	ジェネリック医薬品普及率	62.6%	70.0%

## 特定保健指導未利用者対策

メタボリックシンドロームの要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行い、有病者・予備群を減少させる

- ・健診会場での保健指導の実施（過去未利用者）
- ・訪問等で保健指導の実施

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	特定保健指導実施数 健診会場・訪問等	139人	183人
アウトカム	特定保健指導実施率	43.8%	60.0%

## 生活習慣病予防支援〔健康ライフ支援〕

特定健診結果により情報提供に該当した者のうち、健康保持に努める必要がある者に対して、生活習慣病や重症化を予防する

- ・WS豊岡に委託して継続的な生活習慣改善支援を行う

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	参加勧奨通知数	1,304人	1,400人
アウトカム	生活習慣病予防支援参加率	10.8%	12.0%

## 前期高齢者の健診・保健事業の充実

前期高齢者に対し、健診受診を促し、フレイル予防の視点を入れた生活習慣病予防の保健事業を実施し、介護予防につなげる

- ・前期高齢者への健診の受診勧奨の実施
- ・フレイル予防を含めた保健指導の実施
- ・KDBデータ等を活用し、高齢部門や地域包括支援センターと情報共有しながら連携

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	前期高齢者の未受診者への受診勧奨実施率	2.5%	15.0%
アウトカム	前期高齢者の特定健診受診率	49.2%	67.0%

## 重複服薬・重複受診・頻回受診者訪問指導事業

不適切な受診行動をしている被保険者を訪問指導し、受診や服薬の適正化を図り、医療費を抑制する

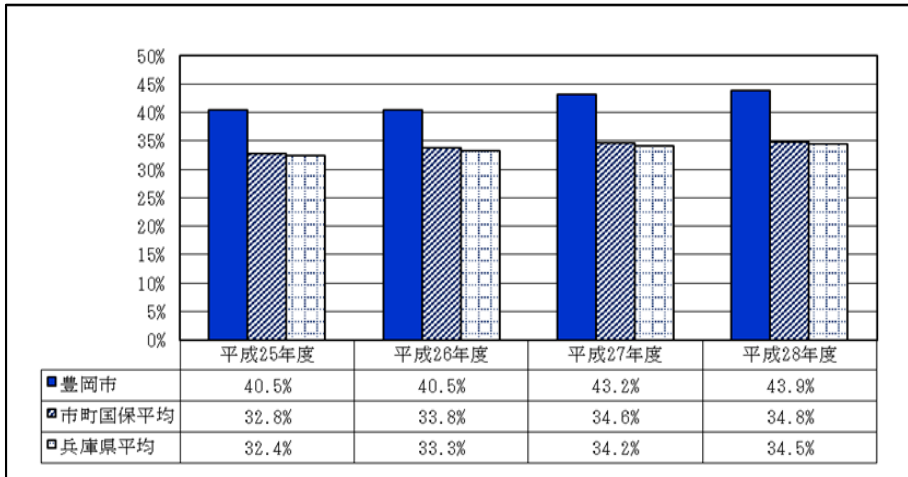
- ・訪問対象者を選定し、訪問指導を実施

### <目標>

	指 標	現状(2016年)	目標値(2024年)
アウトプット	訪問指導実施率	50.0%	60.0%
アウトカム	訪問指導後の医療費削減率	22.4%	35.0%

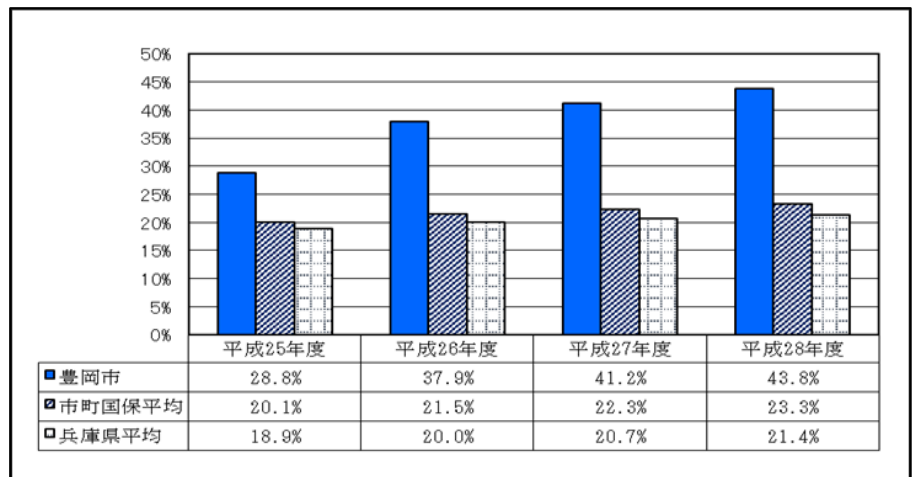
# 特定健康診査・特定保健指導の実績および目標値

## 特定健康診査受診率



被保険者の減少により特定健康診査対象者は減少傾向にあるが、受診者はほぼ横ばいである。受診率は年々少しずつ増加しており、平成28年度の受診率は43.9%であり、兵庫県34.5%、市町国保34.8%と比較すると高い。

## 特定保健指導実施率



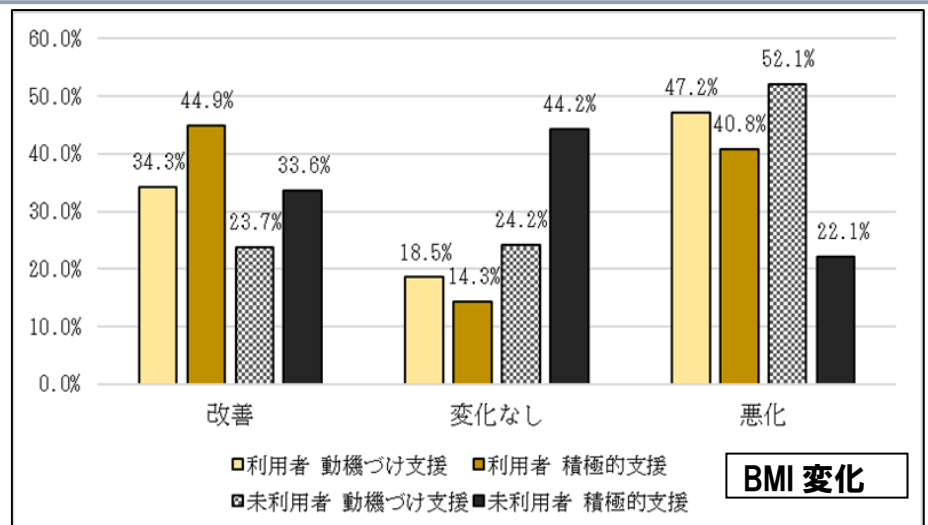
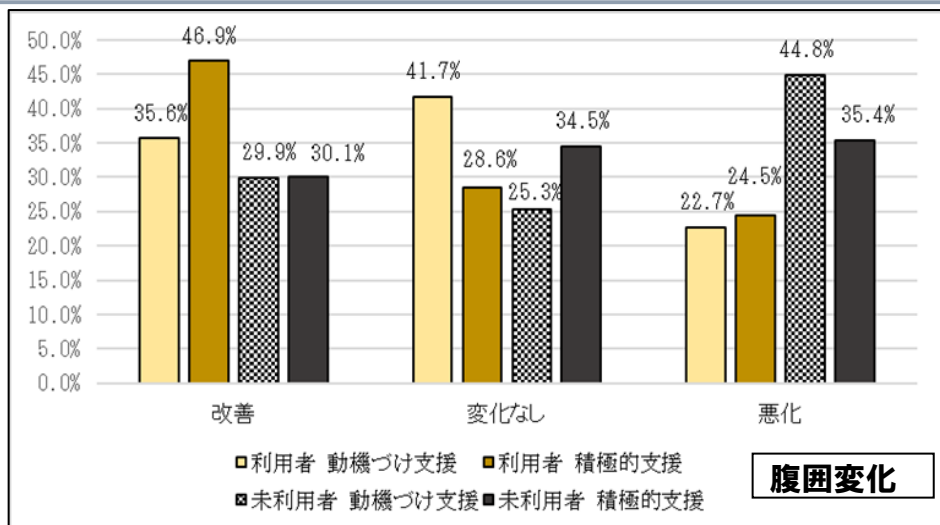
平成28年度では、特定保健指導対象者650人で、特定保健指導実施率は43.8%。実施率は年々増加しており、兵庫県21.4%、市町村国保23.3%と比較すると高い。

## 第3期計画の目標値

項	目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査の実施率	目標	46%	49%	52%	55%	58%	60%
特定保健指導の実施率	目標	46%	49%	52%	55%	58%	60%
特定保健指導対象者の減少率(平成20年度比)	目標						25%

国が示す特定健康診査等基本指針において、平成35度における市町村国保の特定健康診査等実施率目標は、「特定健康診査実施率60%」、「特定保健指導実施率60%」、「特定保健指導対象者の減少率25%」としており、それを達成するため、年度毎に目標値を定め、目標達成に向けて取り組みを強化していく。

## 特定保健指導の効果



平成27年度特定保健指導利用者(265名:ウェルストーク豊岡で実施)及び特定保健指導未利用者(307名)の平成27・28年度特定健診結果を比較して評価を実施した。特定保健指導利用者と未利用者の腹囲変化(平均)を比較すると、未利用者と比べ、特に積極的支援で減少している。また利用者のうち、動機づけ支援で35.6%、積極的支援で46.9%改善している。(※腹囲改善-1.0cm以上 変化なし-0.9cm~0.9cm 悪化1.0cm以上で分類)

BMI変化(平均)を比較すると未利用者と比べ、特に積極的支援で減少している。また利用者のうち、動機づけ支援で34.3%、積極的支援で44.9%改善している。このようなことから、特定保健指導利用者(特に積極的支援)は、未利用者と比べ、効果があったことがわかる。

(※BMI改善-0.5以上 変化なし-0.4~0.4 悪化 0.5以上で分類)

## 計画の見直し

計画の中間年度の平成32年度に、中間評価として各保健事業の実施内容や目標値の達成状況等事業の進捗管理を行う。計画の最終年度(平成35年度)には、計画に掲げた目的・目標の達成状況について、中間評価も踏まえて総合的に評価を行い、次期計画に向けての見直しを行う。

発行 豊岡市市民生活部市民課国保医療係  
〒668-8666 豊岡市中央町2番4号

平成30年3月

(問合せ先)

市民生活部市民課国保医療係  
健康福祉部健康増進課国保保健係

TEL 0796-21-9061 (直)  
TEL 0796-24-7034 (直)

